

# 仙台駅東地区における賑わい・物流・モビリティ が共存する道路空間の社会実験について

## 目次

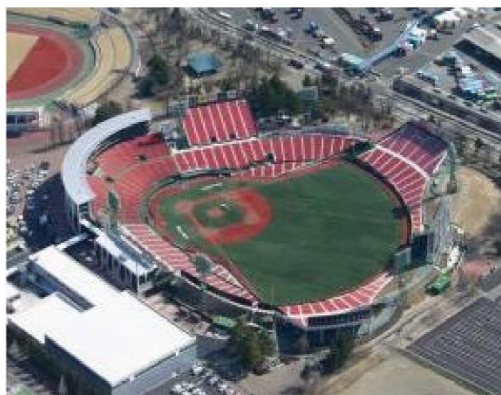
1. 社会実験の概要
2. 仙台駅東まちづくり協議会について
3. 社会実験の取り組み状況
4. 調査分析
5. 今後の取り組み

主催：仙台駅東まちづくり協議会

後援：仙台市都心まちづくり課

# 1 社会実験の概要（実験地域について）

JR仙台駅東口から広がる当該エリアは、平成27年度に土地区画整理事業が完了後、居住人口が年々増加しており、**住宅だけでなく、オフィスや専門学校が集積している**。また、実験対象の宮城野通は、JR仙台駅東口から楽天生命パーク宮城等を結ぶ**総延長が約1.5km、最大幅員50mのシンボルロード**であり、車道以外に、片側だけで、歩道11m、自転車道2.5m、停車帯2.5mという広幅員の道路空間を備える。



県営宮城球場



仙台アンパンマン子どもミュージアム&モール



夏まつり仙台すずめ踊り



宮城野通

総幅員 50m

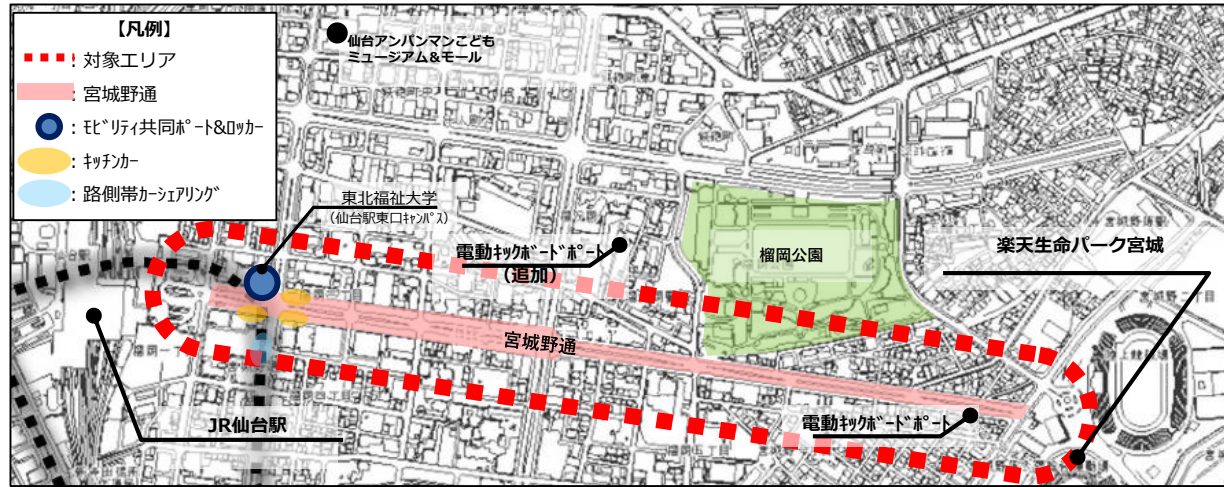


JR仙台駅東口駅前広場付近の道路幅員構成

出典：仙台駅東まちづくり計画

# 1 社会実験の概要（実験地域で発生している課題）

## ■対象エリア



### ①日常的な賑わいの不足

・JR仙台駅東口を基点とした宮城野通は、企業オフィスや大学・専門学校等が点在している一方、JR仙台駅西口と比べて、沿道店舗が少なく、楽天生命パーク宮城でプロ野球の試合がある時など、試合前のわくわく感や試合後の余韻を楽しむ空間や仕掛けが不足している。

### ②施設間のつながりの不足

・JR仙台駅東口から楽天生命パーク宮城までの約1.5kmは、歩くには長く、電車に乗るには短い距離となっている。

・シェアサイクル（DATEBIKE：ダテバイク）はJR仙台駅の西側地区と比べると利用できるポートが少なく、また、地区内の循環バスもないため、東西方向の宮城野通だけでなく、南北方向（約1km）の移動手段も、徒歩もしくは自転車利用が主体となっている。

# 1 社会実験の概要（実験の目的）

## ① 日常的な賑わいの創出

⇒キッチンカー等が出店しやすく、**来街者の滞留を促すような環境を構築**

## ② まちの回遊性の向上

⇒地域のニーズに対応した電動キックボード等のモビリティサービスや、新技術を活用した物流サービスの提供により、**交通手段の多様化等を推進**する。

⇒歩行者や多様なモビリティが、**安全で快適に移動や滞在ができるユニバーサルデザインの歩行空間を創出**する。

# 1. 社会実験の概要（社会実験の方針）

仙台駅東口から楽天生命パーク宮城等へつながる宮城野通において、広幅員の道路空間をフル活用し、「賑わい・モビリティ・物流」の複数種類のモビリティが同時に混在したときの走行安全性や利便性向上支援策を検証（R3.11～）

## ① 複数種類の交通モードの導入

### 賑わい キッチンカー



仙台駅東まちづくり  
協議会

### モビリティ

#### 電動キックボード



(株)LUUP

#### 電動アシスト自転車



(株)トコエ・バイクシェア

#### 自動走行車いす



東北福祉大学、  
コニカミノルタ

#### 路側カーシェア



タイムズモビリティ(株)

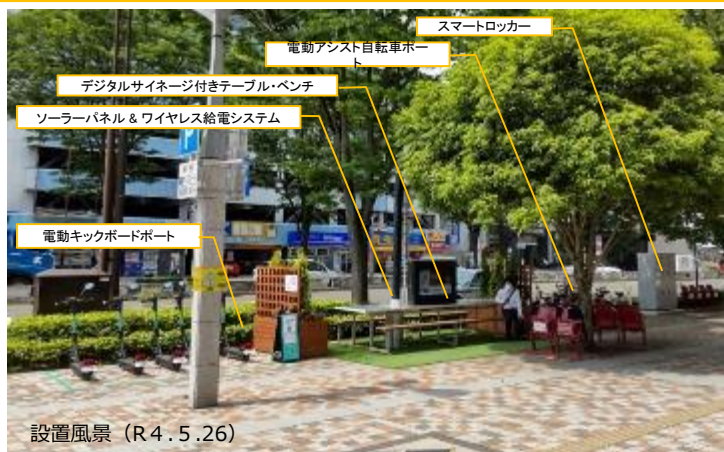
### 物流

#### スマートロッカー



(株)SPACER

## ② 次世代モビリティ共同ポートの設置



設置風景 (R4.5.26)

次世代モビリティ共同ポートの設置状況

### ＜社会実験方針＞

- ① 複数種類の交通モードが同時に混在したときの「走行安全性」を検証
- ② 充電やデジタルサイネージ等の利便機能を共用できる共同ポートを設置し、「利便性向上策」を検討

カメラによる人流分析、アンケート等による活用ニーズ把握、運営体制の検討等を実施

# 1 社会実験の概要（実施体制）

## 仙台駅東地区における賑わい・モビリティ・物流が共存する道路空間の社会実験

仙台駅東地区社会実験  
ワーキンググループ  
(検討組織R3..9設立)

仙台駅東まちづくり協議会  
(実施主体・事務局)

協力事業者  
・各種モビリティの実施  
・モビリティ共同ポートの設置  
・AIカメラ等での調査や分析  
・調査取りまとめ

オブザーバー等  
・国土交通省東北地方整備局  
・宮城県警察本部交通規制課  
・仙台市 等

仙台市  
(申請主体)

①負担金  
R3・R4  
②有識者の派遣等

国土交通省道路局  
環境安全・防災課

社会実験の公募  
(R3年8月、採択決定)

負担金

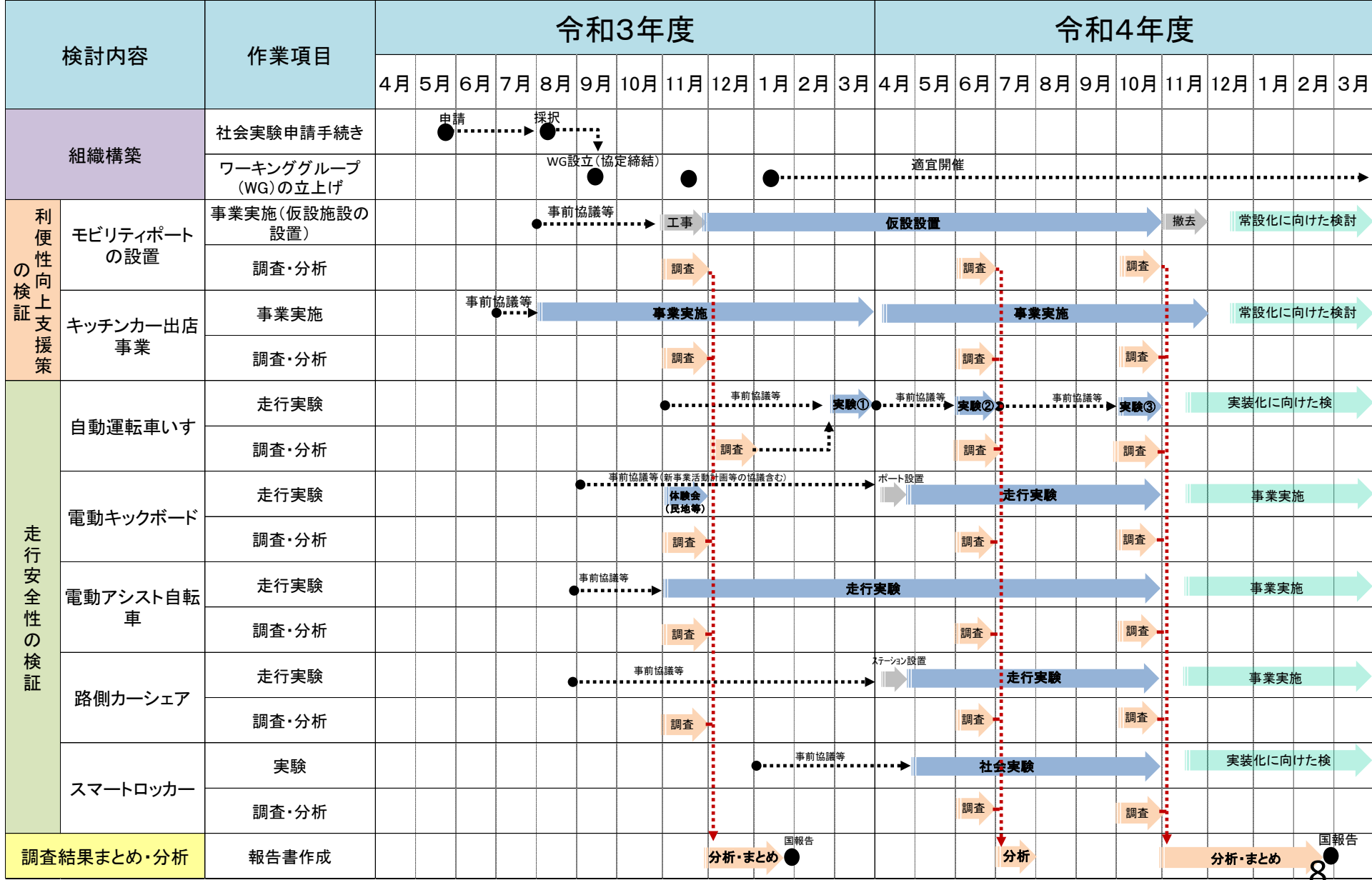
補助金

# 1 社会実験の概要（R4ワーキンググループ）

役職	所属	備考	
委員長	松栄不動産株式会社	協議会理事長、沿道協力地権者	
副委員長	東北福祉大学	協議会副理事長、都市創造部会長、沿道協力地権者	
事務局	株式会社ヨドバシホールディングス	協議会理事、沿道協力地権者	
	株式会社楽天野球団	協議会会員、沿道協力地権者	
	株式会社サングラフィックス	協議会事務局長、コミュニティ広報部会長	
	有限会社ミドリ企画	協議会空間活用部会長	
	株式会社トスネット	協議会事務局	
協力事業者	株式会社Luup	モビリティの企画・運営	
	株式会社ドコモ・バイクシェア	コミュニティサイクルに関する企画・運営	
	東北福祉大学、中央大学、コニカミノルタ株式会社	AI自動運転車いすに関する企画・運営	
	ユアキッチン実行委員会	移動販売車に関する企画・運営	
	タイムズモビリティ株式会社	路側カーシェアに関する企画・運営	
	株式会社SPACER	スマートロッカーに関する企画・運営	
	ニューラルポケット株式会社、アンデックス株式会社	カメラ撮影による人流データ等の収集と分析	
	大日本印刷株式会社	協議会会員、サイネージコンテンツの提供	
	株式会社オリエンタルコンサルタンツ	社会実験全般に関する調査・分析	
行政機関(オブザーバー含む)	国土交通省 東北地方整備局 仙台河川国道事務所	道路政策に関する助言・情報提供等	
	宮城県警察本部交通規制課	オブザーバー、交通規制等の助言等	
	仙台東警察署交通課	オブザーバー、道路使用許可等	
	仙台市	都心まちづくり課	協議会の活動支援
		交通政策課、自転車交通安全課	交通政策に関する助言等
		道路計画課、道路管理課、宮城野区道路課	道路空間活用に関する助言等
	プロジェクト推進課、まちのデジタル推進課	新技術に関する助言等	

# 1 社会実験の概要（スケジュール）

賑わい・モビリティ・物流が共存する道路空間の社会実験 想定スケジュール案（2021.4-2023.3）





## 2 仙台駅東まちづくり協議会について（目指すまちの将来像）

### まちの将来像

【住む・働く・楽しむ・学ぶが混在し多様なアクティビティがあるまち】

- 豊かな都市空間・資源を活かした魅力的なワーク・ライフスタイルが展開されている
- 多様な人々がつながる多層的なコミュニティによって支えられている

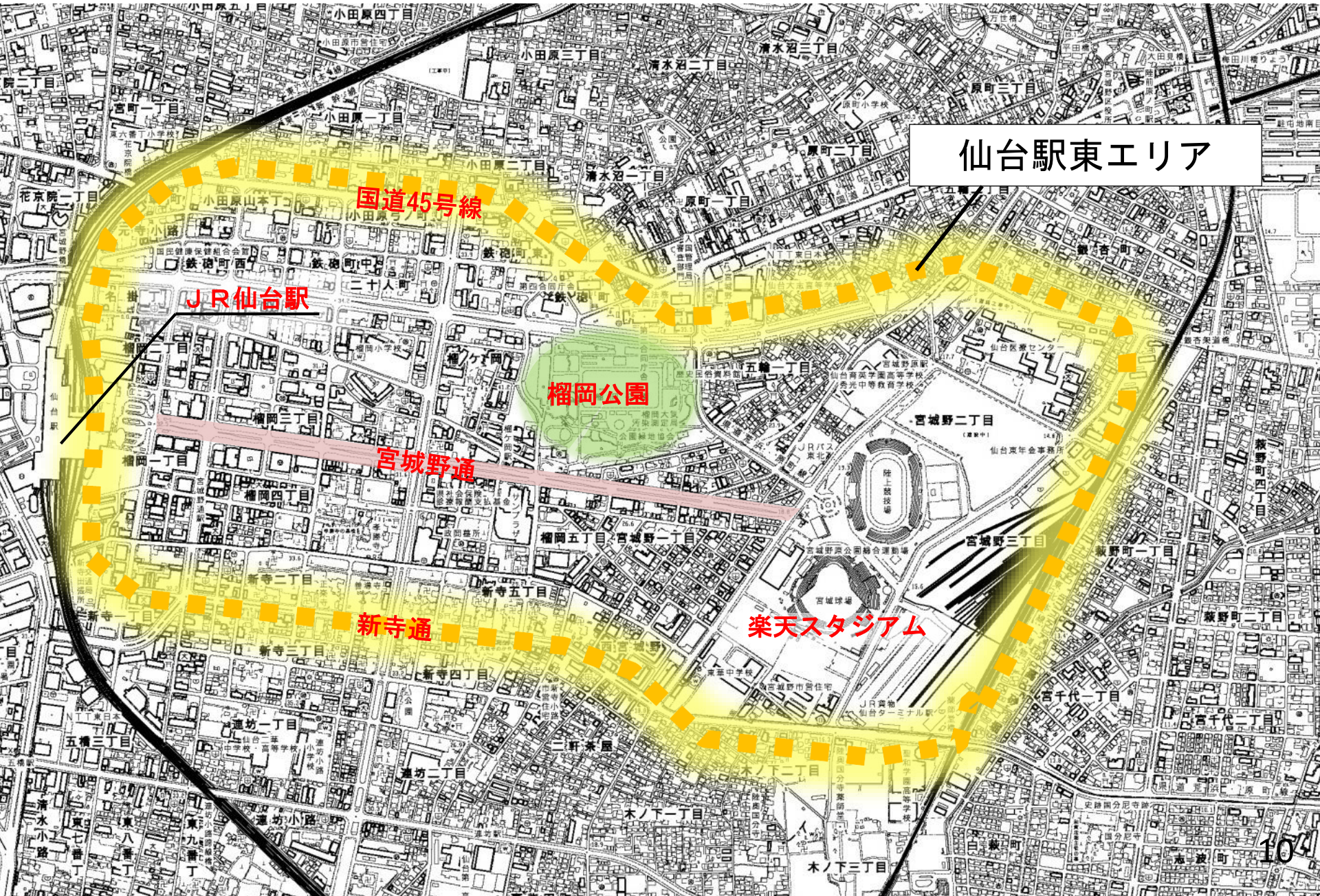
○令和元年8月設立

○会員数：約50者  
エリア内の地権者、  
住民、事業等で構成



作成した「仙台駅東まちづくり計画」を、仙台市長に提出（R2年3月27日）

## 2 仙台駅東まちづくり協議会について（活動範囲）



仙台駅東エリア

国道45号線

JR仙台駅

榴岡公園

宮城野通

新寺通

楽天スタジアム

## 2 仙台駅東まちづくり協議会について（3つの部会）

### 活動内容

#### コミュニティ・広報部会

地域コミュニティの形成  
ホームページや情報紙などによる情報発信

- 地域のコミュニティ形成
  - ・日常的な情報交換、日常的な交流の場の運営
  - ・コミュニティ形成のためのイベント実施
- 各種情報の収集発信
  - ・情報発信体制構築
  - ・インフォメーションセンターの構築運営
  - ・観光や地域、交通、防災など各種情報発信

#### 空間活用部会

宮城野通などの公共空間や公開空地などの民地の活用について、企業との連携による実施や、自主企画を立案、実施

- 公共空間の運営管理
  - ・イベント実施
  - ・日常的な活用（オープンカフェ、交流空間など）
- 民間空間の活用調整
  - ・民間空間での各種活動の企画支援

#### 都市創造部会

地域のまちづくりルールなどの検討や、新技術を活用した新しい都市サービスの検討

- ビジョンの作成とまちづくりの誘導
  - ・地域のまちづくりガイドラインの作成・運用
  - ・新しい都市機能の誘導
  - ・新技術を活用した交通インフラ等の新しい都市サービスの創造

## 2 仙台駅東まちづくり協議会について（空間活用部会の活動）



宮城野通の歩道等にキッチンカーなどを設置する「ユアキッチン」を実施（R2.6～）



楽天野球団と連携し、球場で使用していたベンチを宮城野通に設置（R2.8～）



公園予定地を仮設駐車場として貸出し、収益の一部をまちづくりに還元（R3.3～）

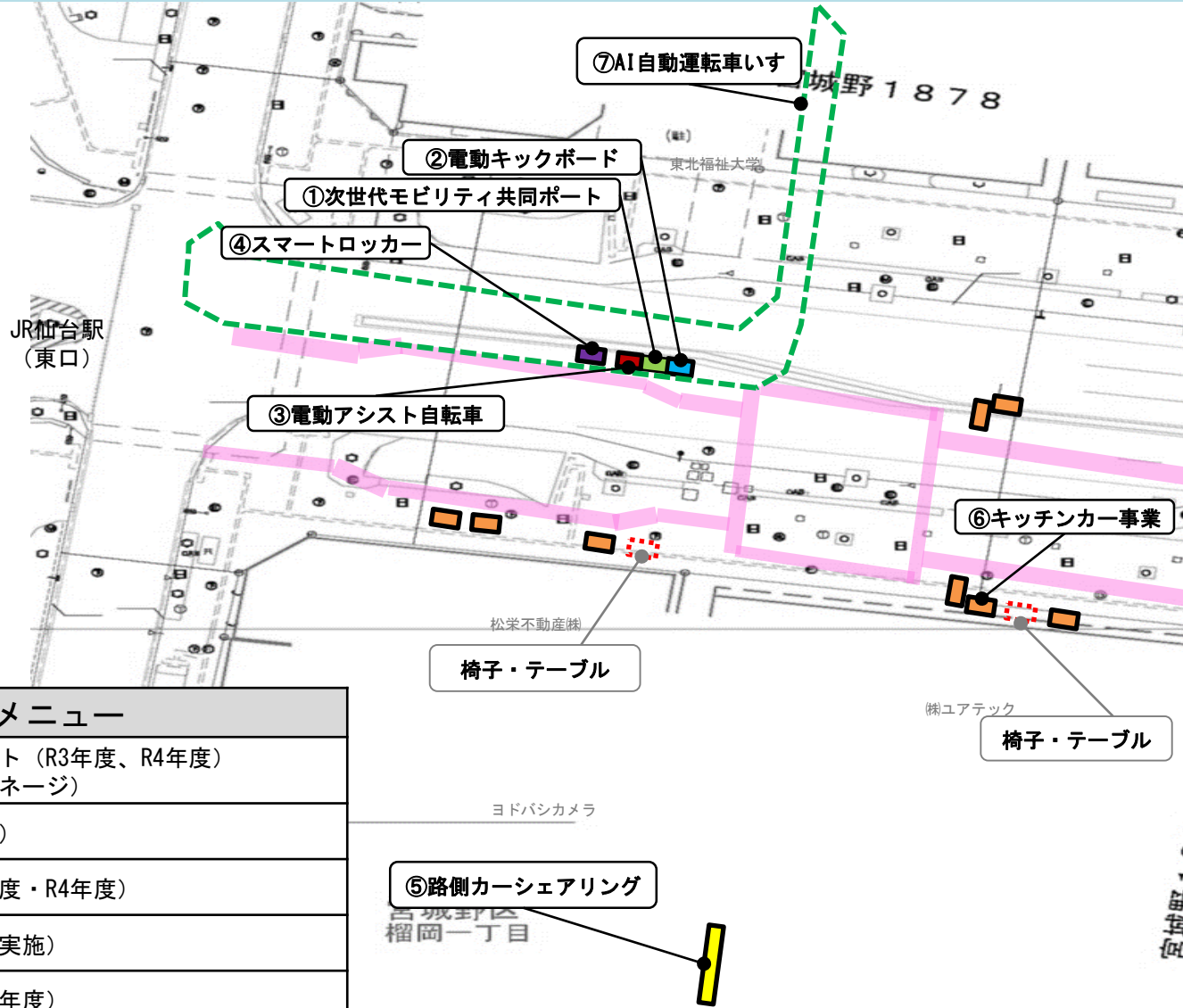


榴岡公園でのドッグランの運営実験（その他、BBQ、パークフィットネス等も実施）








### 3. 社会実験の取組み状況（実験メニュー）

- ① モビリティ共同ポート
- ② 電動キックボード（Luup）
- ③ ダテバイク（ドコモバイクシェア）
- ④ スマートロッカー（スペースR）
- ⑤ 路側カーシェア（タイムズモビリティ）
- ⑥ キッチンカー
- ⑦ 自動走行車いす

# 3 社会実験の配置図

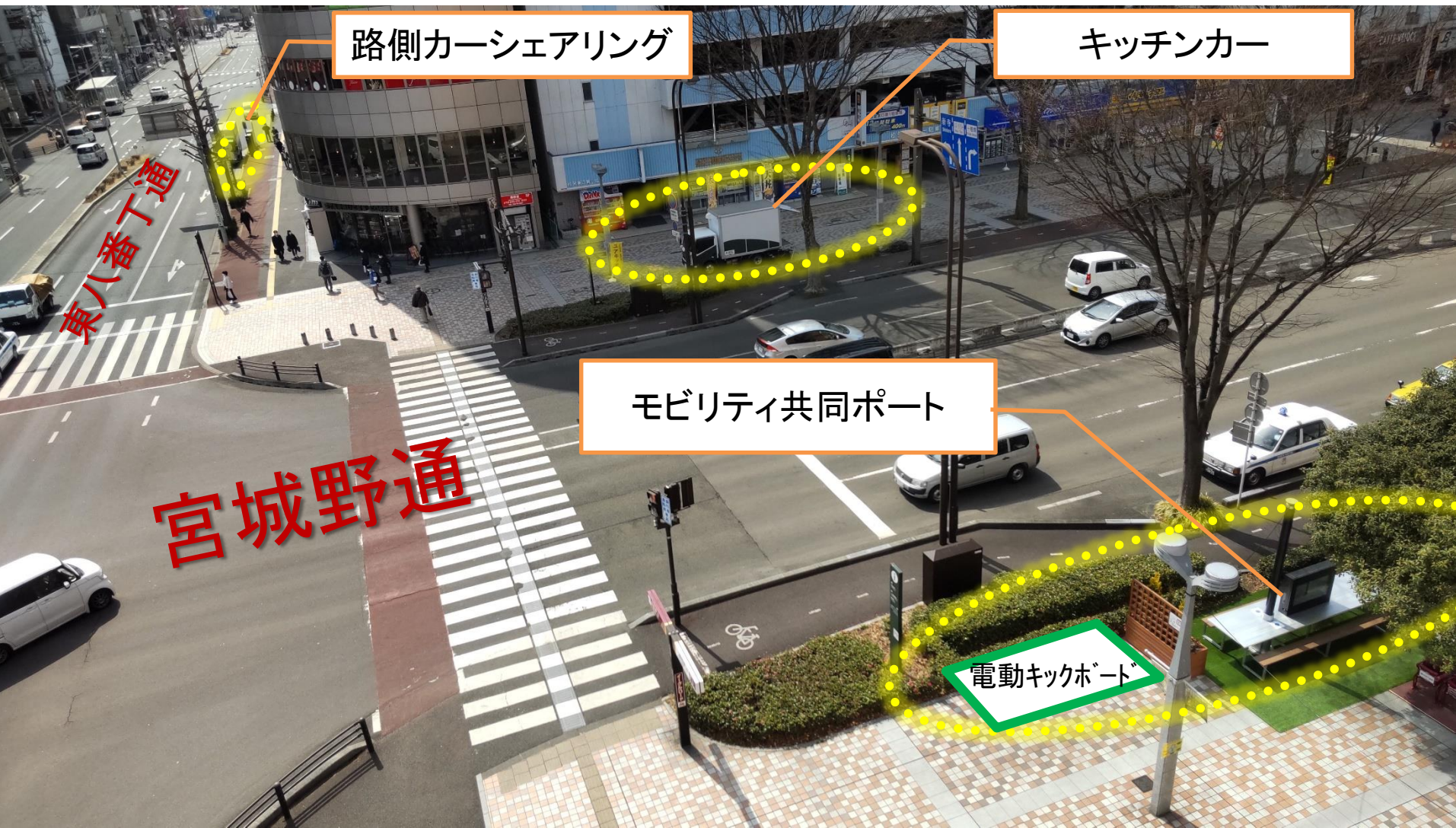


【実験メニュー凡例】

凡例	実施メニュー
①	 次世代モビリティ共同ポート (R3年度、R4年度) (休憩施設、デジタルサイネージ)
②	 電動キックボード (R4年度)
③	 電動アシスト自転車 (R3年度・R4年度)
④	 スマートロッカー (R4年度実施)
⑤	 路側カーシェアリング (R4年度)
⑥	 キッチンカー事業 (R3年度、R4年度)
⑦	 AI自動運転車いす (R3年度・R4年度に3回実施予定)

配置図

### 3 社会実験のレイアウト写真



現況写真

### 3. 社会実験の取組み状況 (①モビリティ共同ポート)

#### 《ねらい》

- 各モビリティの導入と円滑なサービスの提供にあたっては、民間の敷地や道路等の公共空間に**バランスよく乗り換え拠点が設置されることが求められる**と想定。
- 道路内に各モビリティの**乗り換え拠点**（次世代モビリティ共同ポート）**を設置し、候補地の選定や道路幅員、構造、併設する機能、運営費用等を検証。**





# 3. 社会実験の取組み状況 (①モビリティ共同ポート)



デジタルサイネージの概要

- ・ 大日本印刷(株)の協力により、周辺の地域情報をMAPで表示
- ・ 協議会会員やWGメンバーから提供された動画も再生

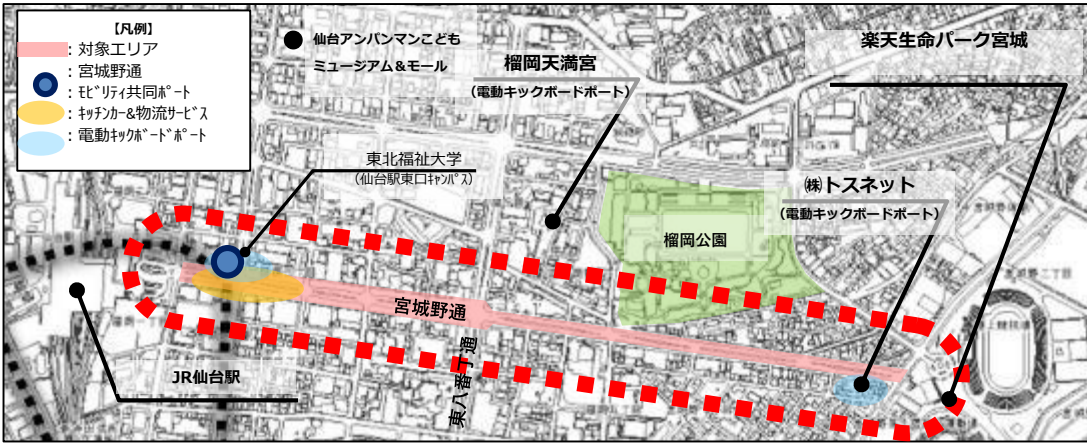


ソーラー発電によるワイヤレス給電の概要

- ・ ソーラー発電シートを巻いたポールと蓄電池を設置
- ・ ワイヤレス給電ユニットから、スマートフォンへの給電が可能

# 3. 社会実験の取組み状況 (②電動キックボード)

《ねらい》  
 当エリアは、JR仙石線の地下化や仙台市営地下鉄東西線の開通などによってバス路線が見直しされ、**路線バスが走っておらず**、また、土地区画整理によって整備された広幅員道路によって南北方向の**移動も徒歩では負担が大きい**ことが地域課題となっていた。



そこで、本社会実験では、**エリア内の移動手段を多様化**するため、(株)Luupに連携事業者として加わってもらい電動キックボードの走行実験を実施した。



西側ポート (E-COM Station) のイメージ



東側ポート (株トスネット敷地内) のイメージ

### 3. 社会実験の取組み状況 (②電動キックボード)



仙台市議会議員向け体験走行会 (R4.7)



榴岡小学校PTA向けの体験走行会 (R4.10)

- ・利用件数：537件 (約4カ月間：100件/月)
- ・平均乗車時間は、**28.3分**
- ・平均乗車距離は、**約2.4km**

#### 【専属スタッフの配置】

- ・実験概要や各モビリティ等の利用方法の説明及び実験エリアの清掃、アンケート調査票の配布等を、専属のスタッフ(1名)が週3日(火・木・土)を基本とし実施。

### 3. 社会実験の取り組み状況(③ダテバイク)

《ねらい》

仙台駅東エリアは、仙台駅の西側と比べてダテバイクの貸出しポートが少ないことが地域課題として挙げられた。また、次世代モビリティの導入を検討するにあたり、電動キックボードと併設して置いた場合に利用者がどちらの移動手段を選択するのか等の観点で調査することを意図して設置。



・ 利用件数：9,057件  
(約10カ月間)

ダテバイクポートの設置風景

### 3. 社会実験の取組み状況 (④スマートロッカー)

《ねらい》

『物流』の視点での新たな道路空間の活用方策として、**道路空間での荷物の受け渡し等の可能性**について、スマートロッカーを扱う事業者 (株)SPACER) と検討を開始し、

- スマートロッカー
    - 預ける
    - 送る
    - 受け取る
    - 予約する
- スマートフォンのみで完結



例えば、電動キックボード乗車時などの**手荷物の一時預かり**や**ヘルメットの貸出**も可能



利用状況：**157件** (約4カ月間)

### 3. 社会実験の取組み状況 (⑤路側カーシェア)



《ねらい》

- ・ 移動手段の多様化を図るため、路側帯を活用したカーシェアリングサービスについて、**安全性を担保しつつ、できるだけ簡易に導入できる方法について検討**を行った。

- ・ 利用件数：**246件**（約5カ月間）
- ・ 法人：100件、個人：146件
- ・ 平均利用距離：53km

### 3. 社会実験の取組み状況 (⑥キッチンカー)

#### 《ねらい》

キッチンカー事業は、令和元年度に仙台駅東まちづくり協議会が実施したアイデアワークショップにおいて、**オフィス街なのに飲食店が少ない**という地域課題を解決する手段として、令和2年度から宮城野通（歩道）を活用して実施している。



キッチンカーの設置風景

○出店者の収益 (R3)  
約3,500,000円÷210回

約17,000円/回

○協議会の収益 (R3)  
登録料5千円×7社 = 35,000円  
出店料2千円×210回 = 420,000円

計455,000円

↑  
エリマネ活動に活用

# 3. 社会実験の取組み状況 (⑦自動走行車いす)



《ねらい》  
 仙台駅東まちづくり協議会の会員である東北福祉大学が中心になり、協力事業者（中央大学、コニカミノルタ株式会社等）と連携して、**運転支援機能付きの自動走行車いすの実装化**に向けた社会実験を実施するもの。

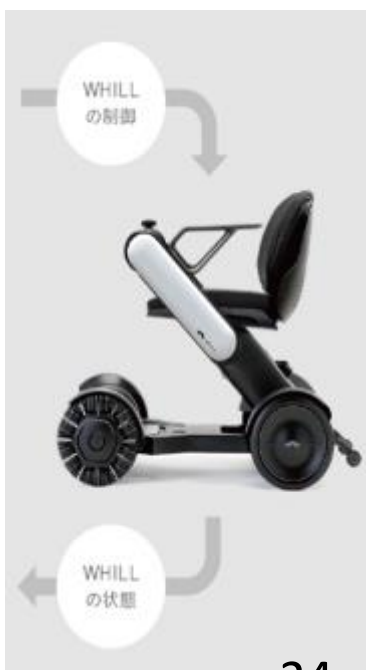
障害物検出



距離推定



モビリティ制御





# 4. 調査分析（R3年度AIカメラによる調査結果分析）

## 《AIカメラによる調査》

令和3年度は、AIカメラを宮城野通沿道のビルに設置し、モビリティ共同ポート設置前と後で歩行者等の通行状況がどう変化したか把握するため撮影および解析を行った。

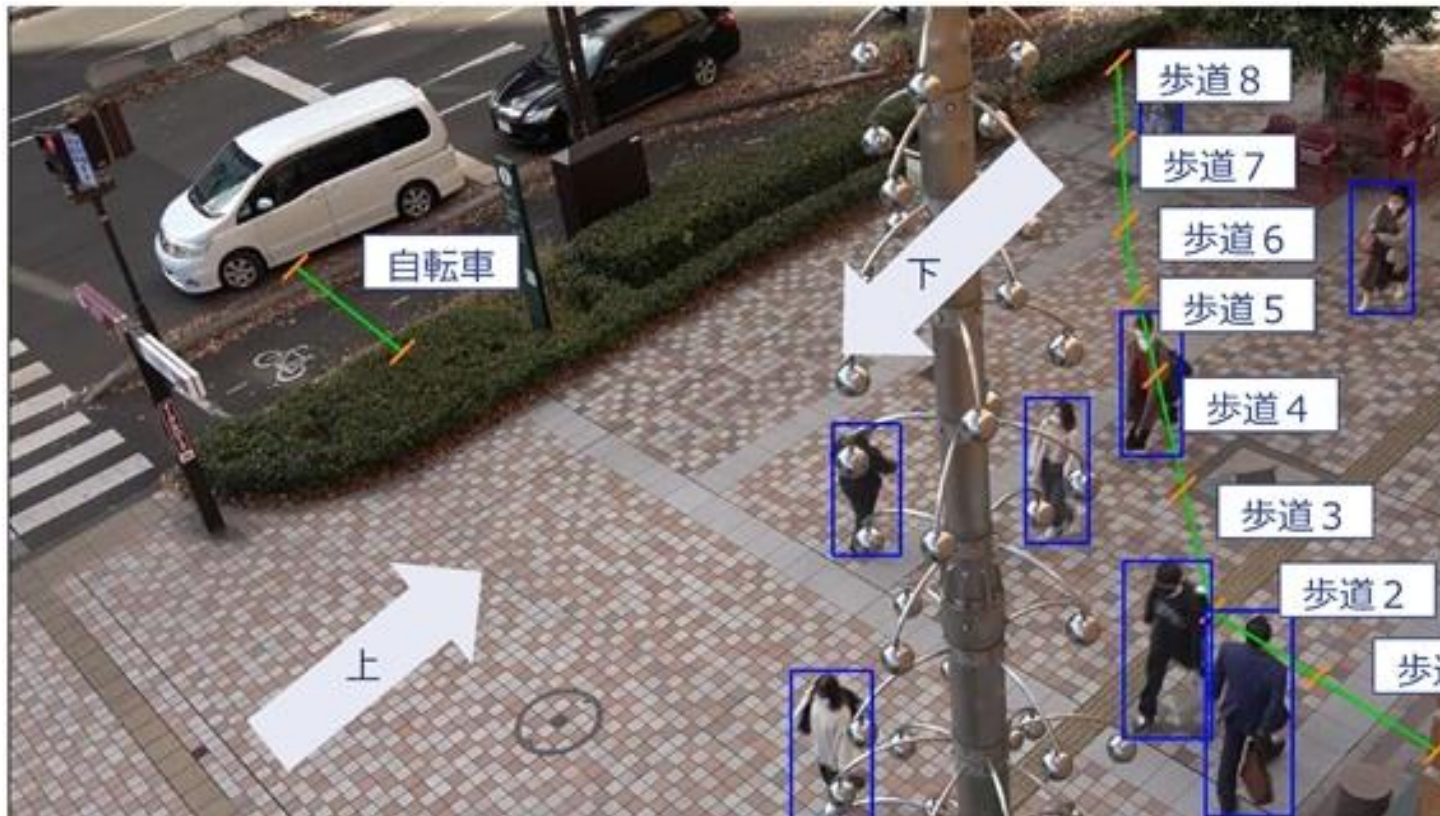
### ＜実施期間＞

①設置前：R3年11月12日（金）、令和3年11月13日（土） 両日9：15～21：15まで

②設置後：R3年11月26日（金）、令和3年11月27日（土） 両日9：15～21：15まで

### ＜撮影場所＞

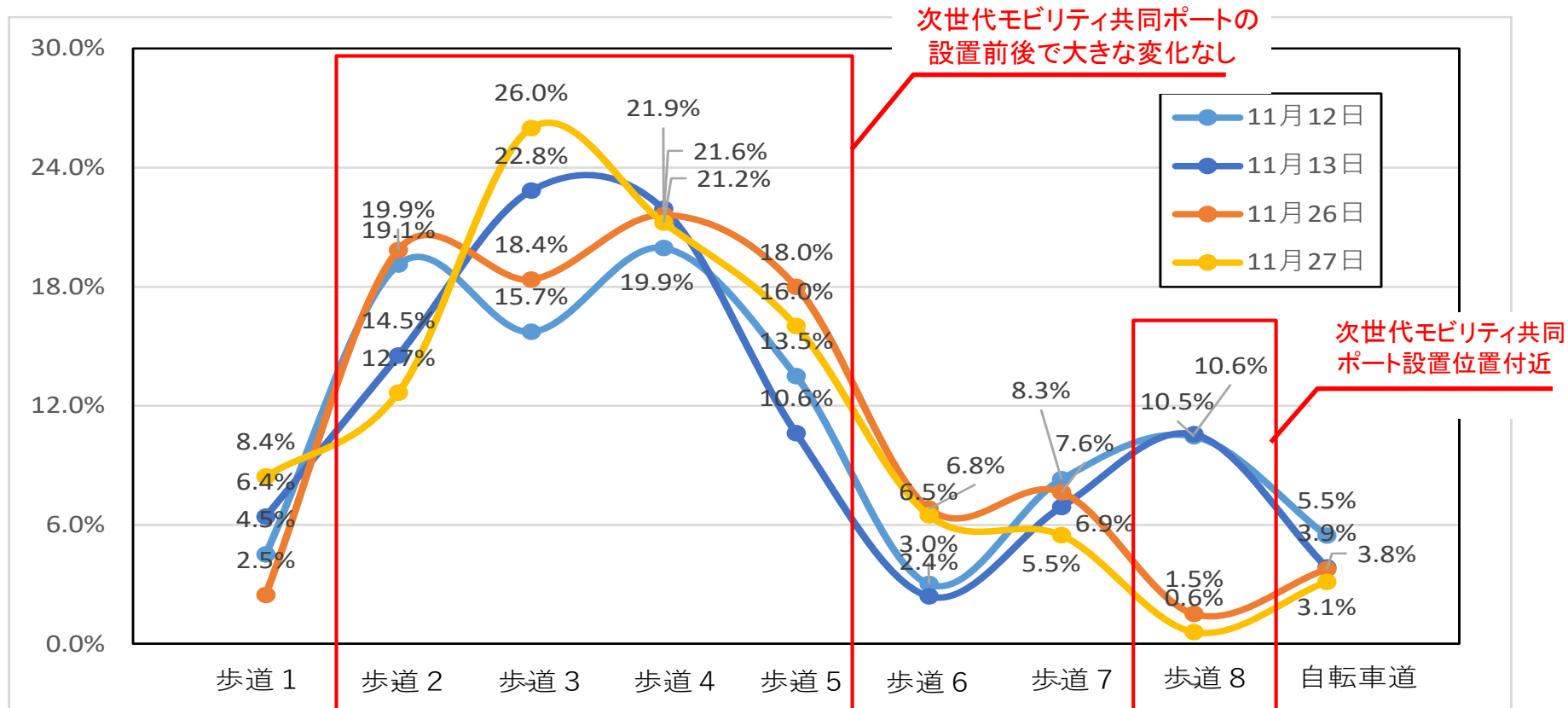
東北福祉大学仙台駅東口校舎の3階ベランダ



- ・歩道および自転車道を通行した歩行者数、自転車通行台数について分析を実施。
- ・分析に当たっては、歩道および自転車道上に画像検知線を設定し、歩道については検知線を8分割し、通行位置についても分析を行った。
- ・分析にあたっては、動画の目視調査による確認も並行して実施した。

# 4. 調査分析（R3年度AIカメラによる調査結果分析）

- 次世代モビリティ共同ポートの設置前後で通行位置ごとの人数に大きな変化が見られなかったことから、宮城野通においては、次世代モビリティ共同ポートの**設置が歩行者・自転車の通行位置に与える影響はさほど大きくない**と考えられる。



# 4. 調査分析 (R3年度AIカメラによる調査結果分析)

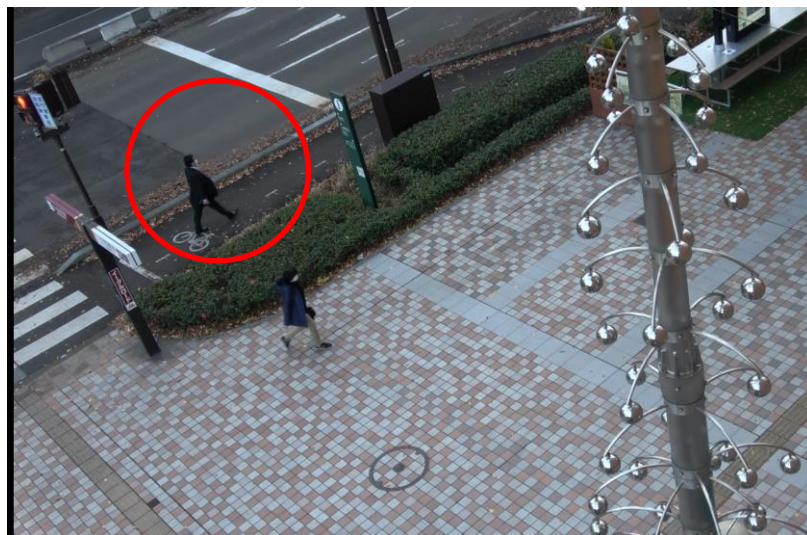
当該エリアには自転車道が設置されているが、歩道を通行する自転車や自転車道を通行する歩行者が一定数あり、通行区分が遵守されていない様子が確認された。



▲歩道を乗車して通行する自転車



▲歩行者近傍を乗車して通行する自転車



▲自転車道を通行する歩行者①



▲自転車道を通行する歩行者②

# 4. 調査分析 (R4年度カメラによる危険事象調査) 分析中

令和4年度は、自転車道が設置されている道路とされていない道路が接する交差点部分において、危険事象(歩行者と各モビリティの交錯等)がどの程度確認できるのか調査。⇒現在分析中

調査箇所	設置日	調査期間	撮影時間	撤去日	備考
榴岡4丁目交差点	R4.9.13(火)	R4.9.14(水)～ R4.9.20(火)	00:00～ 24:00	R4.9.21(水)	目視確認により事象を把握



## 4. 調査分析（アンケートまとめ）

・R4年度アンケートへの回答、約260件回答のうち、**自由意見**を抽出

### 電動アシスト自転車（ダテバイク）

- ・ポートと台数を増やしてほしい → 17件

### 電動キックボード（LUUP）

- ・ポートと台数を増やしてほしい → 11件
- ・料金を安くしてほしい → 2件

### 路側カーシェア（タイムズモビリティ）

- ・ステーションを増やしてほしい → 1件
- ・道路走行中、少し邪魔に感じる → 1件

### その他の主なご意見

#### <移動手段>

- ・バスが欲しい → 7件
- ・移動が不便 → 13件
- ・乗り捨てできる、個人ニーズに対応する等 → 3件

#### <歩行空間>

- ・ベンチ、休憩スペース等 → 10件

#### <自転車>

- ・走行しにくい、走行場所を整備してほしい → 9件
- ・マナー・ルールの啓発 → 2件
- ・駐輪場が欲しい → 3件

#### <情報発信>

- ・情報発信を（もっと、こまめに）してほしい → 4件

## 5. 今後の取り組み

- R4.10月末までの走行データやアンケート調査等の実験結果を整理し、R5.2に報告
- 管理者等との協議により、電動キックボード以外については、R5.3まで設置を延長
- 次年度以降については、ほこみち制度等の道路占用許可特例制度の活用や、まちづくり協議会会員からの設置場所の提供などにより、民地内での継続実施の可能性を検討